

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金積立事業 (110154)			担当課	都市計画課		
	開始年度	平成23(2011)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	丸山 政幸		
	歳出費目	款) 土木費	項) 都市計画費	目) 土地区画整理費	決算附属資料	202	頁	
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	-		
	施策名	中心市街地を活性化する			根拠法令等	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金に積み立てを行い、鉄道網整備事業及び鉄道網整備に関連する都市計画事業の促進を図る原資とすることを目的とする。また、基金に積み立てて生ずる運用利子を得ることで、原資を効率的に増やし、その事業を充実させることに寄与する。						
	対象者	駅周辺整備及び区画整理事業地内の住民、施設利用者、地権者	対象者数	14,000	一人当たりコスト	3.51		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	商業施設の誘致による事業用定期借地料や普通財産土地売払収入及び法定外公共用財産売払収入などの不動産収入を鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金に積み立てる。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		積立金		土地貸付収入、土地売払収入、法定外公共用財産売払収入			48,799	
関連事業	駅周辺公共施設管理事業、都市計画費一般管理事業(区画整理)、石原土地区画整理事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	60,751	37,507	37,507	37,507		
		補正予算等・・・②	73,227	11,292	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源	0	0	0	0	
			国支出金	0	0	0	0	
			府支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他特財	133,978	48,799	37,507	37,507	
	特定財源名称(H29実績)	土地貸付収入(駅周・駅南地区)		18,585	財産運用収入	30 頁		
		普通財産土地売払収入		13,585	財産売払収入	32 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.05/0	0.05/0	0.05/0	/		
		概算人件費・・・④	400	400	400			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		134,378	49,199	37,907				
執行状況	執行額・・・⑥		124,173	48,799				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		92.7%	100.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		基金積立残高	百万円	291 / 559	253 / 559	/ 559	559	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		定期借地契約件数	件	2/2	2/2	/2	2	
		単位あたりコスト		62,086.5	24,399.5			
		単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・基金に積み立てることで、鉄道網整備に関連する事業の原資を確保し、また、基金から生ずる運用利子を得ることで、その原資を効率的に増やすことができるため必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・積立に係る財源は、その全額を土地売払・貸付収入などの収入額で賄い、一般財源に頼ることなく事業を行っている。基金で運用利子を得て、積立額を効率的に増やしている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・積み立てた基金を財源として、市営福知山駅駐輪場ラック入替工事を行なうことができた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・土地貸付収入、普通財産土地売払収入及び法定外公共用財産売払収入に係る不動産収入を一般財源とするのではなく、基金に積み立てて効率的に運用することで、市営福知山駅駐輪場ラック入替工事の施工や石原土地区画整理事業の早期完了に向け、財源を確保することができた。	
	今後の課題及び方向性	・普通財産土地売払収入が減少する見込みの中で、都市基盤整備後の各施設の経年劣化や新たな整備事業に対応できるよう、積み立てに係る不動産収入の確保に努める必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	駅周辺等における定期借地収入等を基金に積み立てている事業である。用地課の歳入が本事業に含まれているため、要調整である。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	中心市街地活性化関連道路整備事業 (120173)			担当課	道路河川課		
	開始年度	平成24(2012)	終了予定年度	平成30(2018)	作成責任者	藤原 謙司		
	歳出費目	款) 土木費	項) 道路橋りょう費	目) 道路新設改良費	決算附属資料	194	頁	
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	福知山市中心市街地活性化基本計画		
	施策名	中心市街地を活性化する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	まちなみに配慮した道路舗装、路上施設を整備することにより、リニューアルと一体化したまちづくりに寄与することができる。また安心、安全な道路交通を確保するとともに、中心市街地の賑わい創出に寄与することが期待できる。						
	対象者	市民・中心市街地内市道	対象者数	3,871	一人当たりコスト	25.08		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 土木工事施工業者等						
	事業概要	広小路界隈のリニューアルに伴い、歩行者、商店の利用者と通行車両の安全性を考慮した道路整備を行なうもの。中心市街地活性化基本計画に基づく街並み環境整備事業の一環として、リニューアルが進む広小路商店街の景観に配慮した道路改良を市民とともに行なう。 広小路本町線は、平成30年度完了予定(京町線は、28年度予算において終了)						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		京町線		京町線道路改良工事 L=260m(28線29)			17,219	
広小路本町線		電線共同溝工事(28線29)			24,309			
広小路本町線		電気設備工事(28線29)			21,427			
広小路本町線		道路改良工事(28線29)			21,648			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		152,000	255,000	183,000	0	
		補正予算等・・・②		0	0	0		
	繰越し等・・・③		34,779	△ 164,779	255,000			
	財源内訳	一般財源		8,082	10,220	22,000	0	
		国支出金		93,400	41,601	148,800		
		府支出金		1,197	0	0		
		地方債		84,100	38,400	267,200		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)		社会資本整備総合交付金(28線29)		41,601	国補助金	18 頁
			公共事業等債(28線29)		38,400	市債	50 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.86/0	0.86/0	0.56/0	/	
		概算人件費・・・④		6,880	6,880	4,480		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			193,659	97,101	442,480			
執行状況	執行額・・・⑥			182,424	84,603			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			97.7%	93.8%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		完成路線数	路線	0 / 2	1 / 2	2/2	2	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		工事件数	工事	1/5	4/5	/5		
			単位あたりコスト	182,424.0	21,150.8			
		/	/	/				
	単位あたりコスト	0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・中心市街地活性化基本計画に基づく街なみ環境整備事業の一環として歴史的資産や文化を活用し、快適で調和の取れた中心市街地の形成と向上を図る。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・街なみの景観と調和した道路環境を整備することにより、中心市街地の活性化に寄与することができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・街づくり協定に基づく景観整備と同調し、地元住民との協働により道路環境の整備を行い、街並みの形成を図ることができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	中心市街地において、歴史的資産や文化を活用し、快適で調和の取れた街なみの形成と向上を図るために、中心市街地活性化基本計画に基づいて、環境整備を進めている。 広小路本町線については、平成30年度に事業完了、京町線については、平成28年度予算をもって事業完了に向けて工事を計画通り進めている。	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・京町線については、28線29での工事をもって完了した。 ・広小路本町線については、現在、事業進捗中であるが、平成30年度の事業完了に向けて計画的に事業進捗を図っていく必要がある。 ・電線類の移設補償については、国庫補助の対象とならないことから財源の確保が必要である。 		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 ○H30年度事業完了。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	中心市街地活性化基本計画推進事業 (310212)			担当課	産業観光課		
	開始年度	平成25(2013)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 孝治		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	184	頁	
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	福知山市中心市街地活性化基本計画		
	施策名	中心市街地を活性化する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	中心市街地活性化基本計画に掲載している事業について、商工会議所等の関係団体並びに市民グループ等と連携を図りながら着実に実行し、中心市街地の活性化につなげる。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山まちづくり株式会社ほか						
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化基本計画に掲載している事業の推進に係る業務について福知山まちづくり㈱に委託 中心市街地活性化基本計画の推進に係るタウンマネージャーの配置 中心市街地内の通行量調査 中心市街地活性化協議会に対する補助、福知山まちづくり㈱が行うアドバイザー業務委託契約に対する補助 中心市街地活性化基本計画に係る協議などに要する旅費、印刷費 福知山鉄道館ポツポランドのあり方検討委員会の開催、2号館の維持管理(H30年度より事業統合) 						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		中心市街地活性化基本計画推進事業業務委託、通行量調査業務委託他			5,446	
負担金補助及び交付金		中心市街地活性化協議会運営補助金、アドバイザー業務委託事業補助金			2,146			
旅費		中心市街地活性化に係る協議、研修他			106			
需用費		パンフレット作成印刷製本費			12			
関連事業								
予算と執行の 状況	分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		4,560	8,064	8,130	10,391	
		補正予算等・・・②		0	△ 233	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		2,280	△ 233	0	0
			国支出金		2,280	0	0	0
			府支出金		0	4,032	4,065	3,800
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	4,032	4,065	6,591
			特定財源名称 (H29実績)		みらい戦略一括交付金		3,638	府補助金
				地域振興基金繰入金		3,854	基金繰入金	36 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.27/0	0.50/0	0.50/0	/	
		概算人件費・・・④		2,160	4,000	4,000		
②+③+④)・・・⑤			6,720	11,831	12,130			
執行状況	執行額・・・⑥		4,557	7,710				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.9%	98.5%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		歩行者・自転車通行量		人	3,700/3,948	4,066/4,025	/4,115	/4,200
		歴史・文化交流施設入館者数		人	381,538/363,226	409,753/370,348	/377,470	/390,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		中心市街地活性化基本計画掲載事業着手数		事業	43/45	44/46	/46	46
		福知山まちづくり㈱等によるイベント企画回数		回	8/5	6/8	/8	8
単位あたりコスト			106.0	175.2				
単位あたりコスト			569.6	1,285.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	衰退する中心市街地を活性化するため、市民・民間企業・行政が一体となって計画の着実な推進に取り組む必要がある重要な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	民間に業務委託することで、事業の企画・運営等を民間ならではのスピード感と豊富な活性化事業の経験による即時対応が可能となり、事業推進の強化と省力化を図ることができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	5年間と限られた期間で中心市街地活性化基本計画の各事業を着実に推進するために、専門人材を配置し、事業の企画・運営等を具体的に推進していくことが出来るので有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	福知山市中心市街地活性化基本計画は、5年間と限られた期間での事業実施が求められるなかで、事業の推進について、市民・民間企業・行政が一体となって、各事業の連携を図りながら推進できている。目標値を下回っていた通行量も、H29年度は店舗の新規開業等により、中心市街地への誘客・集客が図られ、目標を達成した。		
	今後の課題及び方向性	中心市街地活性化基本計画に掲載している事業を、効果的に着実に進めていくために、市民・民間企業・行政が一体となって推進する必要がある。今後も、関係団体等と連携を図り、目標達成に向けて現状分析・課題解決に取り組む。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	テナントミックス事業及びマルシェやマーケットの開催、公立大学サテライトキャンパス及び学生シェアハウスの誘致など、遊休ストックの利活用が活発化している中心市街地東部地区（城周辺～御霊公園周辺）においては、今後も、大規模歴史建築の改修による宿泊施設及び飲食施設の整備や広小路道路美装化の完了、商店街空き店舗を活用したシェアショップ開業、工芸繊維大学によるPBL活動、そして何より大河ドラマ誘致による城・御霊神社回遊という、活性化への機運が高まりつつある。学生や地元商店街、ワンダーマーケットやゆらのガーデンPMOなどの市民団体などの主体が持つ強みと機会を活かす上でも、エリアマネジメントを行い、一体的にエリアの価値を演出・発信できる人材（地域おこし協力隊員）の雇用を行う。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	まちなみ環境整備事業			310243	担当課	産業観光課	
	開始年度	平成23(2011)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 孝治		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算付属資料		頁	
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	福知山市中心市街地活性化基本計画		
	施策名	中心市街地を活性化する			根拠法令等	福知山市街なみ環境整備事業補助金交付要綱		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	城下町福知山のまちのシンボルである福知山城から京街道、新町、広小路界隈、御霊神社など江戸時代の「まち割り」から明治・大正・昭和の佇まいを残す町並みや建造物が数多く残っている。これらの歴史的資産や文化を活用し、地元住民により定められた街づくり協定に基づく景観整備に対して支援を行うことで、美しく誇りある街並みを形成し、来訪者や居住者の増加を図る。						
	対象者	対象地域で建物の外観整備を行う者	対象者数	1	一人当たりコスト	1,920.00		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 街づくり協定に基づく町並み環境整備促進地域						
	事業概要	外観修景整備に対する補助(間接補助) 国補助: 補助対象経費の1/3以内 市補助: 補助対象経費の1/3以内 補助金限度額は1件につき2,000千円						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		街なみ環境整備事業補助金			0	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		6,000	4,000	2,000	7,400	
		補正予算等・・・②		△ 5,196	△ 4,000	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		201	△ 4,000	0	0
			国支出金		402	2,000	1,000	3,700
			府支出金		201	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	2,000	1,000	3,700
	特定財源名称 (H29実績)				0		頁	
					0		頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.23/0	0.24/0	0.20/0	/	
概算人件費・・・④		1,840	1,920	1,600				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,644	1,920	3,600			
執行状況	執行額・・・⑥		804	0				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	#DIV/0!				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		歴史・文化交流施設入館者数	人	381,538/3,676,000	409,753/385,500	/387,750	/390,000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		修景実施件数	件	1/2	0/2	/1	42/45	
		単位あたりコスト		804.0	0.0			
				回	/	/	/	
単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	家屋の外観整備に対する補助要望は一定終了した状況にある。また、来訪者及び居住者のさらなる増加を図るため、平成30年度からは、より効果が高い店舗のみを対象とする。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	地元住民により定められた街づくり協定に基づく景観整備に対して支援を行うことにより、市民独自の投資も促されることで効率的な街なみの形成と維持・向上が図られる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	福知山商工会議所及び福知山まちづくり株式会社と連携し、常に地元の動向を把握しながら事業を展開している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	本事業を開始してから40件以上の景観整備が行われており、城下町の風情を活用したまちづくりが進んでいる。		
	今後の課題及び方向性	地域の高齢化や空き家の増加によって、本事業の活用件数(特に一般住宅)が減少傾向にある。実施エリアが東部地区に限定されており、地元自治会に今後の利用調査を実施した結果、一般住宅の補助要望がないため、来訪者や居住者をより効果的に増やすため、補助対象を店舗に限る。また、駅正面通りでは平成29年度に民間でまちづくり協定を締結された。今後新しい動きも注視し事業の方向性を検討していく。		
庁内及び外部による評価	所 見			
	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】			
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標の立て方が、入館数というのは、1つの目安であるが、本事業のアウトカムとしてはつながりにくい。 ・居住者人数、新しく出店数をアウトカムにする ・受益者負担率が高い事業であるので、受益者負担率の明記と事業名の変更(「〃補助」事業) ・事業が実施された後、景観改修が、どのくらい効果があったのか — 商業の活性化や、土地価格の上昇や、市民の誇りの向上や、その他の指標(目標)も必要なのではないか ・成果実績 … 「まち歩きをする人の数」をいれては ・次のエリアでの展開を検討される場合には、現在の対象エリアでの検証を十分にした上で進められたい。 ・主な経費欄に記入 		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>中心市街地東部地区においてサイン整備を行うとともに、新規開業店舗が増加している駅正面周辺地区において、地区住民及び商店街等が主体的に締結した「街づくり協定」及び「福知山駅正面周辺地区デザインガイドライン」等に基づいた統一感のある街なみの創出を支援することを通じて、商業の活性化及び土地価格の上昇、通行量の増加を図る。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業			310256	担当課	産業観光課		
	開始年度	平成21(2009)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 孝治			
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	184	頁		
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	福知山市中心市街地活性化基本計画			
	施策名	中心市街地を活性化する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	空き家、空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、不動産の流通を促進し、まちなか居住の推進による居住人口の増加と商業活性化を図る。							
	対象者	ストックバンク制度利用希望者及び開業希望者	対象者数	不特定多数	一人当たりコスト	-			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山まちづくり株式会社							
	事業概要	福知山市のホームページにて中心市街地エリアの空き家、空き店舗、空き地の情報を掲載し、情報発信を行う。また、ストックバンクを利用し、新規開業をする際に補助金を交付する。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		委託料		中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク登録業務			3,487		
負担金補助及び交付金		空き店舗等対策事業補助金			2,900				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		8,235	7,835	10,945	7,700		
		補正予算等・・・②		△ 758	△ 1,006	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源		4,794	0	0	3,850	
			国支出金		2,683	3,414	5,472	0	
			府支出金		0	0	0	0	
			地方債		0	0	0	0	
			その他特財		0	3,415	5,473	3,850	
			特定財源名称 (H29実績)	地方創生推進交付金		3,194	国補助金	18	頁
		地域振興基金繰入金		3,193	基金繰入金	36	頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.45/0	0.20/0	0.20/0	/		
		概算人件費・・・④		3,600	1,600	1,600			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			11,077	8,429	12,545				
執行状況	執行額・・・⑥		5,647	6,387					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		75.5%	93.5%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		新店舗開業数	件	5/4	3/4	/4	8/20		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		新規登録物件数	件	5/10	11/10	/15	20		
			単位あたりコスト	1,129.4	580.7				
新規利用登録者数	人	13/10	25/15	/25	30				
	単位あたりコスト	434.4	255.5						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	中心市街地において増加する空き家・空き店舗等の活用を促進するためには、マッチングを進める必要があり、地域の情報の集まりやすい行政が関わる必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	福知山まちづくり株式会社と連携して事業を実施することで、専門的に取り組む人材を確保し、事業の遂行にあたることができている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	物件の登録件数及び成約件数を効果的に伸ばすことが課題となっている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	中心市街地における空き家・空き店舗等の不動産の流動化を進めるため、本事業は一定のニーズがあり、実績も伴っており、不動産の流動化に効果を発揮している。	
	今後の課題及び方向性	さらなる登録物件数の増加及び利用希望者の発掘に繋げるため、物件見学ツアーやDIYワークショップの開催等、継続して情報発信していくことが必要である。		
庁内及び外部による評価	所 見			
	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】			
	所 見			
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<ul style="list-style-type: none"> ・HP上のストックバンクの内容情報の質、フォローが、現状の委託業務内容では不安 ⇒HPへのアクセス件数や、フォローUP体制を数値化必要 ・まちづくり(株)は成約件数を上げているような活動がわかりにくい → 成約件数が目標にない ・委託料と、その成果が明確でなく、居住人口の増加と商業活性化が図られているとはいえない実績であり、委託のあり方、目標(指標)のあり方など、根本的に見直しが必要なのではないか ・まちづくり会社への委託方法については、インセンティブが働かぬ形、逆に言えば、成果がない場合は減額するような契約が妥当 ・開業店舗の売り上げや集客数、納税額といったデータも収集・分析されたい 		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 空き家・空き店舗等が増え、空洞化が進む中心市街地において、不動産の流動化を通じて、まちなか居住の促進と商業活性化を図る上で、棚卸しでも指摘をいただいているとおり、成果を高めるための改善余地はある。 平成31年度においては、ストックバンク制度を利用して移住や開業等をされた方へのフォローアップ調査を行うほか、制度の委託業者にインセンティブがはたらく要件などを委託業務に盛り込む。 また、公立大学生等のまちなか居住を推進するための仕組みづくりを検討する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	